

児童のみなさん、先生方、避難訓練お疲れさまでした。避難する時の約束をしっかりと守ってとってもよくできました。このように落ち着いた避難ができれば、もし、火災に巻き込まれても、被害を最小限に食い止めることができるのではないかと感じました。

それでは、これから火災の主な原因と、火災による主な死亡原因について話をします。

まず、主な原因です。

日本全国で起きた火災のうち、今年の1月から6月までを調べてみると、第1位が「電気火災」です。電気火災の原因は、大きく3つに分けられます。

1つは、電気ストーブやヒーターなど、熱を発する電気製品に布製品が接触して起こる火災です。

2つは、コンセントとプラグの接点から起こる火災です。コンセントにプラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み口にチリやホコリがたまって、そのチリやホコリから出火することがあります。また、差し込み口に水などの液体がかかると、その瞬間、大きな電流が流れて出火することがあります。

3つは、漏電です。漏電というのは、電源コードが古くなったり傷ついたり切れたりして、電気が漏れ、漏れた電気が出火することがあります。

こう考えると、電気火災は、いつ起きてもおかしくありません。今日、帰宅したら差込口にチリやほこりがたまっていないか、点検しようと思います。このような電気火災で、2,437件の火災が発生しています。

2位は、「たきび」です。たき火が原因で、2,170件の火災が発生しています。

3位は、「たばこの不始末」です。たばこの不始末で、1,830件の火災が起きています。

4位以下、興味のある人は調べてみてください。

ちなみに、今年の1月から6月にかけて、起きた火災の総件数は11,848件です。

次に、火災による主な死亡原因です。

火災での死亡原因の多くは炎ではありません。煙です。火災で発生した高温の煙を吸い込んだり、不完全燃焼により発生した有毒ガスを吸い込んだりすると呼吸困難に陥ります。呼吸困難は、煙を吸った瞬間に起こります。ですから、一瞬で死に至るといった場合が少なくありません。

煙は、ゆっくり漂っているイメージがあるかもしれませんが、そうではありません。階段を上ってくる速さは1秒間に3~5メートルです。これは大人が走る速さに匹敵します。いかに速いか、想像できると思います。しかし、横方向への煙は、1秒間に1メートルくらいです。ですから、慌てさえしなければ、容易に避難できます。火災に巻き込まれてしまったら炎と煙から逃げることになりますが、炎よりも煙の方が圧倒的に速いことを覚えておいてください。

煙からの避難の仕方を三つ紹介します。

1つ、タオルやハンカチを濡らして口に当て、煙を直接吸わないようにしてください。タオルやハンカチがないときは、袖を口や鼻に当ててもいいです。

2つ、煙は横方向への速度が遅いので、可能な限り、横方向へ避難してください。

3つ、姿勢を低くして避難してください。煙は天井からたまって下がってきます。床に近い場所は煙が少ないので、姿勢を低くして避難してください。下にも煙がたまってしまった時は、壁に手を当て、壁つたいに避難してください。

今日は、火災の原因は電気火災が多いということ、火災による死亡原因は煙が多いということを話しました。

まずは、火災が起らないよう未然防止に努めることが大切です。その上で、火災に巻き込まれてしまった時は、適切な方法で避難することが命を守るにつながります。

適切な避難の仕方を示したものが「お・か・し・も・ち」です。今日の避難訓練では、「お・か・し・も・ち」を意識できましたでしょうか。

火災は、身近なところで起きています。十分注意していきましょう。